

千葉県小中学校体育連盟バスケットボール専門部

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン

(2021年6月13日作成)

【本ガイドラインの目的】

- 新型コロナウイルス感染症への感染，および感染拡大を最大限防ぎながら，本連盟バスケットボール専門部の競技会を開催すること。
- 感染リスクを下げるために関係者が遵守すべき基準を示すこと。
- 感染が生じた場合の対応を示すこと。

【本ガイドラインの拘束力】

- 競技会参加者は，本ガイドラインの記載事項を遵守しなければならない。

～主催者としての準備・対応～

1 大会中止の判断

(1) 感染拡大が懸念される場合

- ・関係する自治体や主催者が、感染拡大が懸念されると判断した場合は大会を中止する。

(2) 不可抗力によりチームが大会に参加できない場合

- ①不可抗力とは、県や市町村の自治体や行政により大会参加に関わる部分的な制限がある場合を指す。
- ②自治体や関係団体の方針を考慮しながら、主催者が検討し、判断する。

(3) 辞退によりチームが大会に参加できない場合

- ①チーム事情により大会参加できない場合を指す。
- ②チーム事情によるものであるため、基本的に大会は実施/継続とする。
- ③但し、一定数以上辞退チームがある場合には、大会中止を検討する。

2 主催者の権限

(1) 主催者は以下の権限を持つ。

- ①主催者は、出場チームが十分な回復期間が確保されない場合は、原則として出場禁止または参加資格を取り消すことができること。
- ②主催者は、大会までに陽性者の回復、濃厚接触者の隔離期間解除がなされない場合は、出場禁止または参加資格を取り消すことができること。
- ③主催者は、出場チームに感染疑いが生じて安全性の判明が間に合わない場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができること。
- ④主催者は、大会中に出場チーム（対戦相手チームの場合もある）に濃厚接触者や感染疑いが生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができること。
- ⑤主催者は、大会中に出場チームに 37.5 度以上の発熱者および新型コロナウイルス感染症を考慮する症状を有する者が生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができること。
- ⑥主催者は、対戦済みの相手（敗退したチーム）に感染疑いが発覚した場合、勝利して次戦がある当該チームに対して棄権を指示（勧告）できること。

3 大会参加者・参加チームについて

(1) 「COCOA－新型コロナウイルス接触確認アプリ」

- ・参加予定者には、可能な限り「COCOA－新型コロナウイルス接触確認アプリ」を自身のスマートフォン等にダウンロードすることを求める。

(2) 当人の大会への参加の可否

- ・参加予定者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合や感染が疑われる場合についての大会への参加については、原則以下のように定める。

参加予定者の大会当日の状態	大会の参加について
①感染が確認されているとき	・大会への参加は認めない ・大会期間中の場合は棄権
②濃厚接触者に特定されているとき	・大会への参加は認めない ・大会期間中の場合は棄権
③感染が疑われるとき 【例】 ・PCR検査を受けたが、結果待ちである。 ・PCR検査を受けていないが、以下の項目に該当する。 ア、体調不良（例：発熱(37.5度以上)、咳(せき)、咽頭通(のどの痛み)など風邪の症状がある。 イ、同居家族や身近な知人に感染を疑われる方がいる。 ウ、過去14日以内に、政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。 エ、48時間以内に陽性者との接触がある。	・大会への参加は認めない ・大会期間中の場合は棄権
④勤務先・通学先が閉鎖または活動禁止 (学校閉鎖や学年閉鎖)のとき 【例】 ア、学校閉鎖 イ、自分の学年・学級・部が閉鎖・活動停止	・大会への参加は認めない ・大会期間中の場合は棄権
ウ、他の学年・学級・部が閉鎖・活動停止	・学校長が大会への参加を認めたものは、参加を認める

※2週間前からの健康チェックにおいて、該当しない項目がある場合は、原則大会への参加は認めない。但し大会までに十分な休養がとれ、上記③に該当しない場合は参加を認める。

※チームを指揮するコーチが感染者/濃厚接触者/体調不良者となり、コーチライセンス保持者が不在となった場合は、すみやかに大会本部へ連絡する。大会本部はJBAの規定による「コーチ不在の場合の対応」に沿って対応を決定し、当該チームの責任者へ連絡する。

※上記以外の事象については、すみやかに大会本部へ連絡し、指示を仰ぐこと。大会本部は県小中学校体育連盟と協議し、対応を決定次第、当該チームの責任者へ連絡する。

4 会場における感染対策

(1) 受付

①体育館入り口で検温を実施する。そのため、チームの会場入りの時間を以下のようにする。

チーム	会場入りの時間
第1試合（9：00～）が その日最初のゲーム・TO関係のチーム	体育館入場開始時刻から30分間
第2試合（10：30～）が その日最初のゲームのチーム	9：00～9：30
第3試合（12：00～）が その日最初のゲームのチーム	10：30～11：00
第4試合（13：30～）が その日最初のゲームのチーム	12：00～12：30
第5試合（15：00～）が その日最初のゲームのチーム	13：30～14：00
※原則、各チームは、チーム内のメンバーがそろったらまとまって入場すること。 ※各チームは必ず検温場所を通過すること。 ※第1試合の開始が9：30の会場については、会場入りの時間を30分ずつ遅らせる。	

②体育館への来場者全員に「健康チェックシート」の提出を求める。入場後、責任者がまとめて本部へ提出する。

③アルコールなどの手指消毒剤を用意する。

(2) 手洗い場所・トイレ

①手洗い場に石鹸（ポンプ型）を用意する。

②参加者に予め「30秒以上の手洗い」及び「マイタオル」の持参を求める。

(3) 更衣室・ロッカールーム

スペースにゆとりを持つことが厳しい場合は、利用者同士の相談のもとで、使用のタイミングの工夫を求める。

(4) ギャラリー・観客席

①身体的距離を確保し、密にならないことを求める。

②客席がある場合は、左右1席以上開けて使用することを求める。

(5) ゴミの廃棄

①会場内のゴミ箱（更衣室・トイレ等含む）は使用させない。

②大会運営上で出るゴミの回収・廃棄は主催者が行う。

③ゴミを回収する役員は、マスクや手袋を着用し、作業後に石鹸で手を洗う。

(6) 会場の換気

- ①窓やドアなどを常時開放する。
- ②試合と試合の合間では、日除けカーテンも開放し空気循環を促す。
※試合の状況に応じて変更することもある。

(7) マスク・ホイッスルカバー等の着用

- ①体育館への来場者全員に、マスクの常時着用を必須とする。
- ②審判員に、ホイッスルカバー、マスクの着用を必須とする。

5 観客の入場制限及び管理

(1) 観客の有無

- ①無観客による開催とする。ただし、3年生の保護者は、各家庭1名、かつ、1チーム15名まで、限られたエリアへの入場を可とする。
- ②出場チームの3年生に限り、ベンチ入りメンバー以外の、限られたエリアへの入場を可とする。
- ③大会関係者は「健康チェックシート」の提出を求め、大会本部から許可された者のみ入場させる。

6 健康チェックシートの扱い

チーム責任者を通じて提出された参加者の「健康チェックシート」は、最低でも3ヶ月は保管する。3ヶ月後に発症者がいない場合には「健康チェックシート」を個人情報記載文書扱いとしてシュレッダー処分を行う。

7 「3密回避」のための競技フレーム（試合日程）

(1) 試合数・開始時刻

- ①1会場最大2コート展開，1日最大4または5試合までとする。
- ②各試合開始時刻を以下の通りにし，会場にチームや役員が集中することを避ける。

第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合
9：00	10：30	12：00	13：30	15：00

※会場によっては第1試合開始が9：30となり，以降30分ずつ遅くなる。

※大会最終日は，表彰の関係で第3・4試合目が規定より10分程度開始を遅らせる。

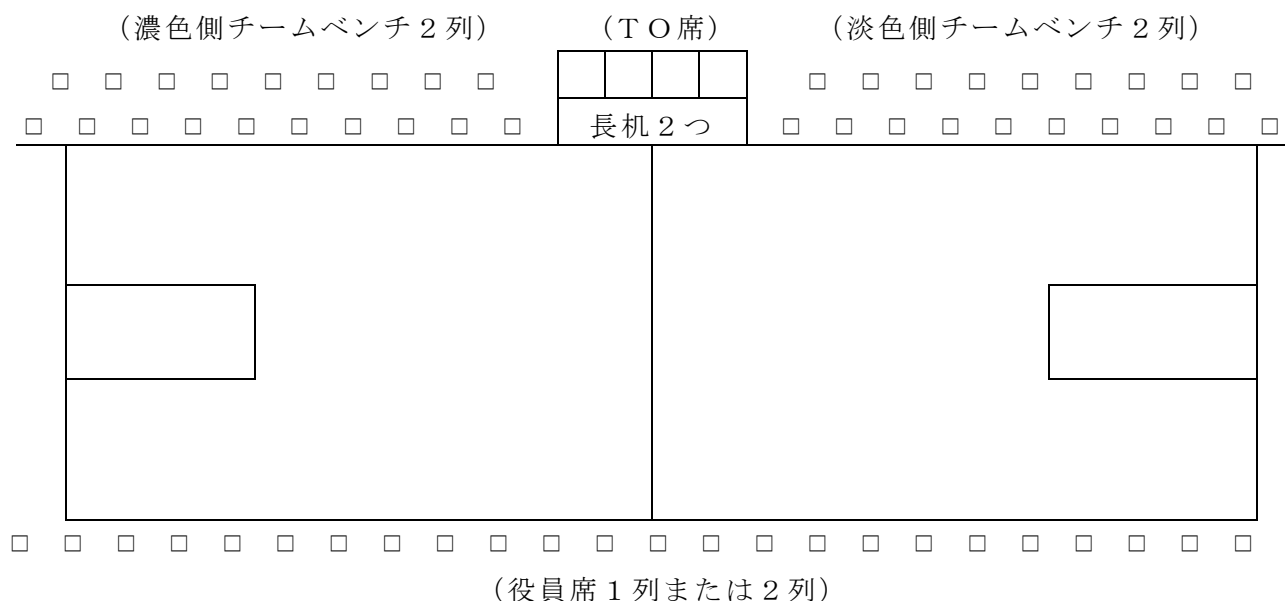
- ③前の試合の「いわゆるハーフアップ」は不可とする。そのため，試合開始前のアップ時間を最低でも15分は確保する。

(2) コートデザイン

- ①コートデザインを以下のように変更する。但し，会場内のスペースの関係で，以下の変更が困難な場合は，別のデザインで密を避けることとする。
 - ア，TO席を拡大する。（長机2台で4人着席する。）
 - イ，ベンチエリアを変更する。（2列で交互（いわゆる市松模様）に設置する。）

ウ，コートサイド役員席。（１列か２列で交互（いわゆる市松模様）に設置する。）

エ，コート図



(3) メディカルタイムアウト

全試合で感染症予防と熱中症予防の観点から，３０秒間のメディカルタイムアウトを導入する。

8 除菌作業

- (1) 除菌作業に必要な道具類は，大会本部が準備をする。
- (2) 試合と試合の間に「ベンチエリア，T O 席，役員席，試合で使用した器具」の除菌作業を行う（担当：その場所を使用したチームスタッフ）。
- (3) 大会終了後，「体育館や更衣室，荷物置場などの入り口のドアノブや扉，ベンチエリア，使用した椅子や机，トイレや手洗い場の蛇口や洗浄ボタン，照明などのスイッチ，その他試合で使用した器具」の除菌作業を行う。（担当：役員，チームスタッフ）

2 参加者の遵守事項

参加者は、本ガイドラインの記載事項を遵守しなければならない。また、以下の点については特に注意を払って大会に参加すること。

(1) 健康チェックシートの記入・提出

(2) 感染防止策の徹底

①参加者はマスクを着用する。

(選手は、試合出場時やコート上でのアップ時において、この限りではない。)

②「こまめなうがい」や「こまめな手洗い」「アルコール消毒」など手指消毒の実施を行い、「マイタオル」を持参する。

③お互いの距離の確保を意識する。

④「大きな声での会話」「チームそろっての応援・掛け声（フロア・ベンチ・客席）」は行わない。

⑤試合またはT O終了後、速やかに退場し、会場にとどまらない。ただし、次の試合のT O等がある場合はこの限りではない。

1 健康観察

(1) 参加者（選手・チームスタッフ・保護者・大会役員等）は、大会2週間前より、別紙「健康チェックシート」への記入をし、大会当日に大会本部へ提出（選手はチーム責任者を通じて）する。翌日以降にも大会が続く場合は会場を退出する前に、大会本部へ提出した「健康チェックシート」を受け取り、次の大会日まで各自が記入を続ける。

(2) 大会終了後、2週間以内に「新型コロナウイルス感染症」を発症した場合には、大会本部及び主催者へ、チーム責任者を通じて速やかに濃厚接触者の有無などについて報告する。（P. 9に「報告の流れ」）
また、「C O C O A－新型コロナウイルス接触確認アプリ」をダウンロードしている場合は、アプリへの陽性登録を速やかに行う。

2 感染防止策

(1) 観客席・ギャラリー・荷物置き場に関すること

- ①観客席やギャラリーを荷物置き場として利用しても良いが、座席使用を「いわゆる市松模様」や一つずつ空けるなど、お互いの距離には十分に注意する。
- ②観客席後方のスペースでアップをする場合は、マスク着用の上、声を出さずに行う。

(2) フロアー内や試合に関すること

- ①ベンチエリアは入れ替え制となるため、前の試合終了後すぐに次の試合のチームはコート内でアップを始めてよいが、ベンチエリアには消毒完了まで立ち入らない。
- ②ベンチスタッフは、選手に対して必ずマスクを着用して指示を出すこと。
- ③試合における感染症予防事項
 - ・ベンチではマスクを必ず着用し、極力会話を控えること。
 - ・試合前後に相手チーム、審判との握手を実施しない。
 - ・両チームベンチへの挨拶を実施しない。
 - ・円陣はしない。
 - ・倒れた選手に手を貸さない。
 - ・ハイタッチ、抱擁を行わない。
 - ・咳エチケットを守ること
 - ・ボトルやタオルの共用はしない。
 - ・コート上でチームメイト、審判と会話をする際にもお互いの距離について配慮する。

(3) 更衣室に関すること

- ①利用者同士が密になることを避け、マスクを着用し、会話は最小限に留める。
- ②更衣室では着替えのみを行う。
- ③必要のない場所や物には触れない。

(4) 飲食に関すること

- ①体育館内での食事や補食は原則禁止とする。ただし、会場施設の許可があり、体育館外に控室がない場合や悪天候で外での食事が困難な場合は、この限りではない。
- ②飲食をする場合は、直前の手洗いうがいを徹底する。また、体の向きを揃え、互いに距離をとり、会話をせずに食べることが望ましい。

(5) ゴミに関すること

ゴミが出た場合は、必ず各自で持ち帰る。

(6) 会場内外での過ごし方に関すること

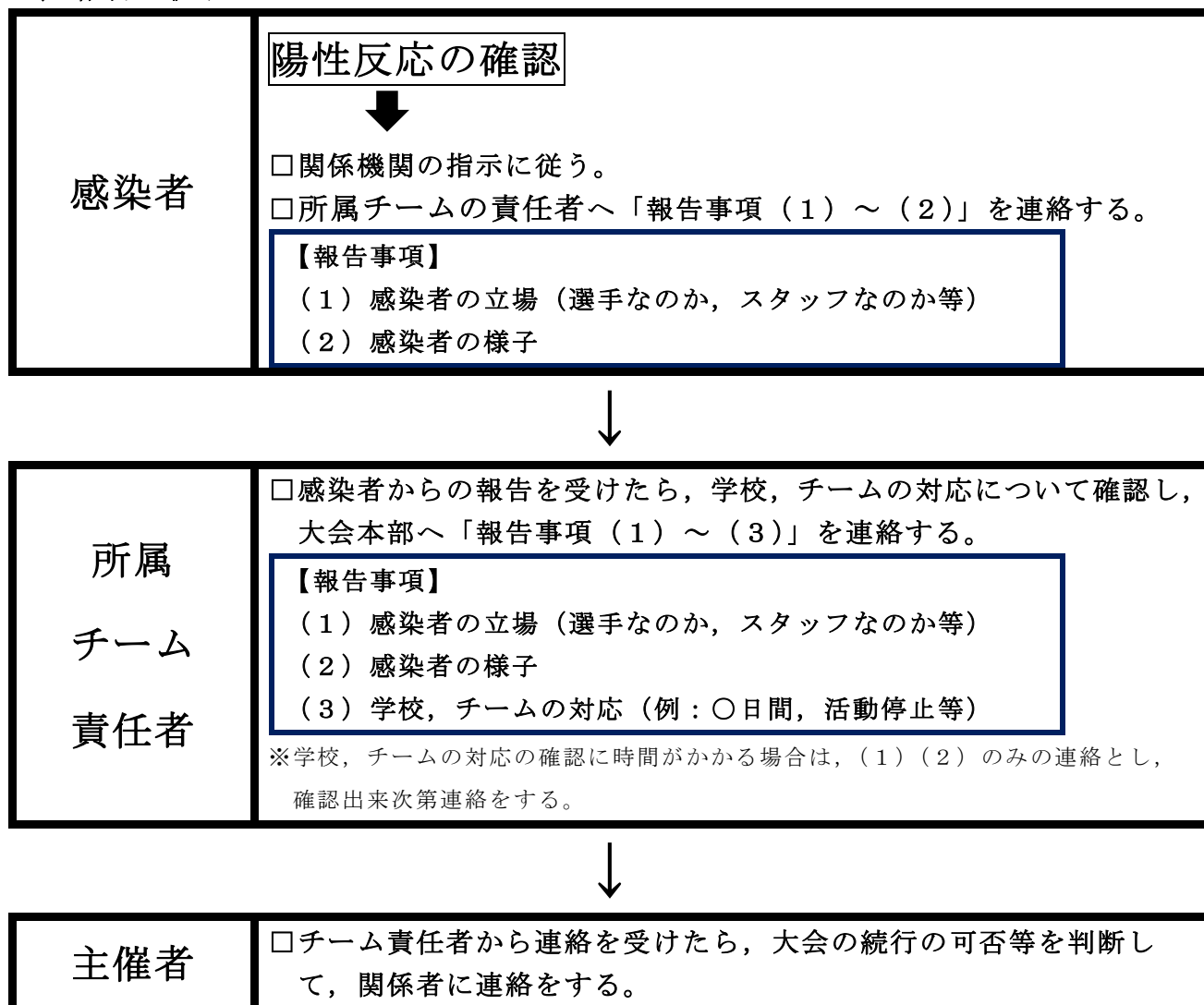
- ①会場内にいる時間は必要最低限の時間とする。
- ②自チームの試合やT.O等の終了後にはすみやかに会場をあとにし、他チームの試合観戦等は行わない。また、会場敷地内での「いわゆる引退式」などは行わず、速やかに会場をあとにすること。
- ③送迎バス等の時間調整もなるべく会場の外で行う。
- ④自チームがT.Oを担当しているとき、T.Oに入らない選手は、会場内の密にならない場所や会場の外で待機することが望ましい。

3 大会期間中及び終了後に陽性反応が確認された場合について

1) 主催者への報告について

大会期間中及び終了後2週間以内にチーム関係者（選手・チームスタッフ・観戦した保護者・その他来場した関係者）に陽性反応が確認された場合、必ず以下の流れで報告を行うこと。

2) 報告の流れ



4 参加チームの大会 1 日のスケジュール（例）

（1）会場到着

- ①チーム関係者・選手は、体育館入り口で検温等を受ける。
- ②チーム関係者は、大会本部で受付をし、チーム関係者全員の「健康チェックシート」を提出する。撮影係がいる場合は、「撮影係申請書」も提出する。
- ③選手は、荷物置き場を確認後、更衣等をすませる。

（2）フロアー入場

フロアー入り口で手指の消毒を済ませ、フロアーへ入場する。ただし、消毒作業が完了するまでは、ベンチエリアには立ち入らないものとする。（アップは許可する）

（3）アップ開始

エチケット・マナーを考慮しながらアップを行う。

（4）試合開始

試合に出場する選手以外は、マスクを着用する。（チーム関係者も同様）

（5）試合終了後

速やかにフロアーから退場する。ただし、定められた場所でプレス関係者によるチーム集合写真撮影を行う場合がある。

（6）会場出発（試合終了後 30 分を目安とする）

素早く更衣をすませ、荷物置き場から各自の荷物を搬出し、速やかに会場を退出し帰路につく。その際、大会最終日以外については、チーム責任者は主催者より自チームの「健康チェックシート」を受け取る。2 試合目や T O 等がある場合は、会場内の密にならない場所や会場の外で待機することが望ましい。補食等は原則会場外で行う。
また、会場敷地内で「いわゆる引退式」などを行わないこと。

5 その他

（1）ガイドライン作成について

新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインの作成に当たっては、「日本スポーツ協会」より出されている「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和 2 年 5 月 14 日発，5 月 29 日改訂）」、「日本バスケットボール協会」から出されている「J B A バスケットボール事業・活動実施ガイドライン（第 3 版 2021 年 1 月 20 日作成）」、および、千葉県小中学校体育連盟より出されている「千葉県中学校総合体育大会における観客について（令和 3 年 5 月 12 日）」を参考に作成。

（2）ガイドラインの変更について

このガイドラインの変更に当たっては、移行期間におけるステップごとの緩和の目安、使用や開催の制限などについて政府（スポーツ庁・文部科学省等）、千葉県、開催地区市町村より発出される要請の内容に基づいて変更されることがある。
変更された場合は、（一社）千葉県バスケットボール協会 U 15 カテゴリー一部会ホームページを通じて連絡する。